北区柔道会創立６０周年を迎えて

北区柔道会は、昭和２５年１０月３日に創立され、以来６０年に亘り北区をはじめ、城北４区（板橋区・練馬区・豊島区・荒川区）の多くの皆様に支えられて参りました。今日では、育成団体として、財団法人　東京都柔道連盟に加盟し、柔道の普及・発展と青少年の健全育成という大きな役割を担っております。

昭和２５年１０月、九段・故光永秋吉先生を中心に当柔道会は創立されました。

昭和５６年３月に勇退するまでの３１年間という長さに亘り、当柔道会の初代会長として「青少年の健全育成」という理念の下、今日に至るまでの当柔道会の基礎を築かれました。光永会長は、警視庁柔道師範、全日本柔道連盟理事、東京都柔道連盟副会長等の要職を歴任され後進の指導に尽力され、現在の理事・役員の師であり、柔道を通して人との縁、絆、様々な事を指導して下さいました。そして昭和４５年、東京都教育委員会より社会体育優良団体表彰を受賞しました。

昭和５６年４月、第二代会長に八段・故舘岡敏雄先生が就任され、平成１５年までの２２年間、「北区柔道会の発展」という目標を掲げ、当柔道会の裾野を広げ、城北五区の中でも中心的存在となり、昭和５８年に社会体育優良団体文部大臣賞を受賞した事は大変喜ばしい事で有り、又心に残る事は、昭和６２年４月、東京都柔道連盟会長に、北区代表理事帝京大学総長・理事長　故冲永荘一先生が会長に就任された事は、当柔道会が最も誇れる事のひとつである。

その後今日に至るまで、八段・関根　正先生が遺志を受け継ぐと共に、会員の協力えて近代柔道の創始者である嘉納治五郎師範は柔道だけでなく、一人の人格として認め合いながら互いに成長、修行していく中で「自他共栄」の精神を持つ、という言葉を残しています。

平成１６年１０月、新潟中越地震が発生した、この惨状に当柔道会は被災地の柔道仲間をただ々激励したいという一心で、会員の協力を得て義援金を送りました。自分だけでなく、周りの人々に対する思いやりが大事であり、人格を尊重しながら接していく事が、人生において必要不可欠であると言う教えを基に、当柔道会の指導方針として関根会長の下に会員一丸となり、次代に引き継ぐべく柔道会にしたいと願っています。

この度、創立６０周年に当たり記念式典を行う事とし、関係各位に、ご出席をお願い申上げた処式典には、財団法人東京都柔道連盟会長福田二朗先生・専務理事、関根忍先生、副会長鳥海又五郎先生、学校法人帝京大学理事長冲永佳史先生、城北五区柔道会各区会長理事長先生、北区長花川與惣太様、北区議会議長、北区体育協会会長、滝野川警察署所長様、他多数の皆様のご臨席を賜り、式典を挙行できましたことを、北区柔道会会員一同心より感謝申し上げ、今後とも変わらぬ、ご指導ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

北区柔道会理事長　関　武夫

平成22年10月24日　北区柔道会創立60周年記念式典祝賀会　於　北とぴあ